

# 新潟県に災害をもたらした主な気象事例

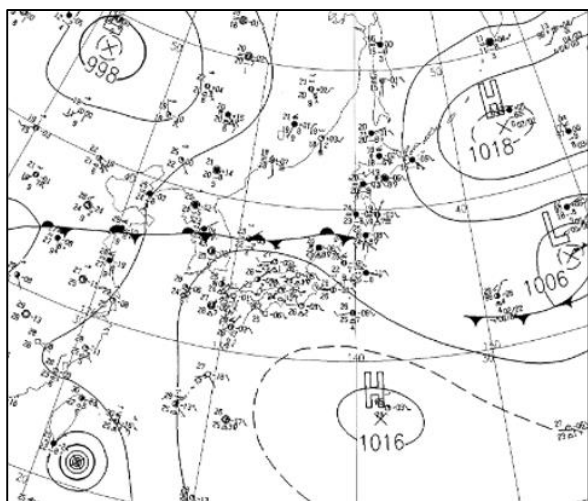
(平成10年8月上旬豪雨) 平成10(1998)年8月3日から4日にかけて下越、佐渡を中心に大雨

## 梅雨前線が停滞し活発化 新潟で観測史上1位となる日降水量265ミリの大雨

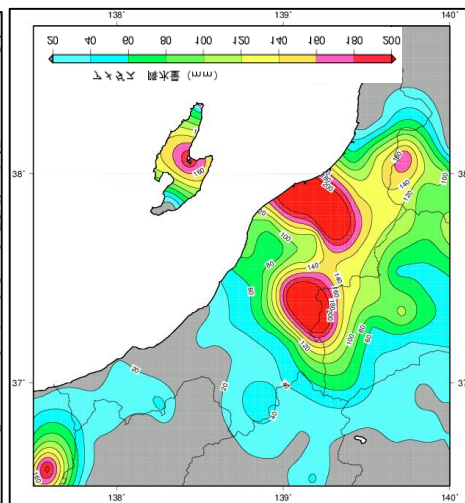
### 【概要】

平成10(1998)年8月3日、東北地方に停滞していた梅雨前線が北陸地方に南下し、4日にかけて停滞した。この前線に向かって太平洋高気圧からの暖かく湿った空気が流れこみ、前線の活動が活発となったため、新潟県では下越、佐渡を中心に記録的な大雨となった。4日の日降水量は新潟市で265ミリ、佐渡市両津で194ミリを観測し、新潟市では観測開始(明治19年)以来第1位の記録となった。

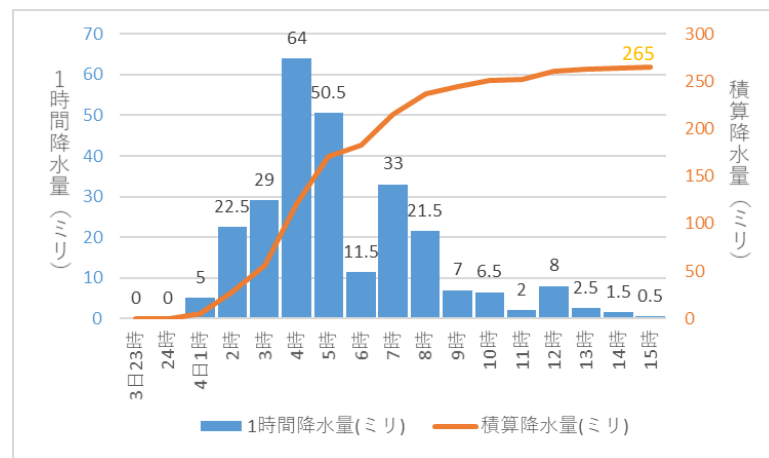
この豪雨により下越や佐渡では河川が増水し、笹神村(現、阿賀野市)付近で堤防が決壊し、信濃川や阿賀野川でも堤防の法面が崩れ、その他多くの中小河川で越水し、三川村(現、阿賀町)中ノ沢川の下沢里橋が流出するなど、4橋梁が流出した。佐渡市では増水した用水路に転落し1名が溺死した。この他にも各地で土砂崩れや地すべりが多発し、鉄道の運休や運転見合わせ、国道では土砂崩れや冠水のため通行止めとなった。被害状況：死者1名、重症1名、軽傷1名、床上浸水2,183棟、床下浸水12,571棟、山崖崩れ・地すべり179か所、堤防決壊か所9か所など(被害状況：新潟県地域防災計画資料編より)



地上天気図 平成10年8月4日3時



平成10年8月3日1時から4日24時までの総降水量(ミリ)



新潟の1時間降水量の推移